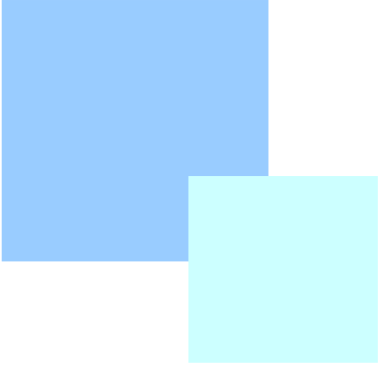




風は吹くし、 水は流れるし、 鳥はとぶのだ

2008年度高木仁三郎市民科学基金助成事業
「水俣の産廃反対運動の経験を普遍化する
—産廃反対運動を組織する人への提言として—

財団法人水俣病センター相思社



水俣病センター相思社とは

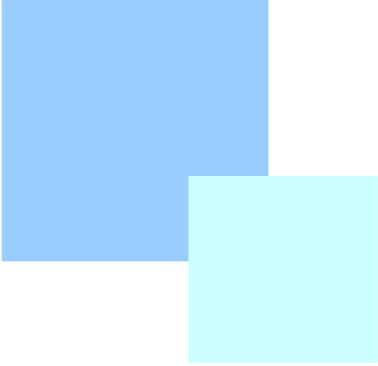
- 1974年水俣病患者のよりどころとして設立
- 行政の補助金を一切受けない非政府組織
- 主な活動
 - a. 水俣病患者、および患者家族の生活支援
 - b. 水俣病に関する調査研究ならびに啓発活動
 - ◆ 水俣病に関する資料の収集整理
 - ◆ 水俣病歴史考証館の運営、エコツアーリズム活動
 - ◆ 水俣病患者や関係者への聞き取り調査
 - c. 水俣の環境文化調査、および地域づくり活動

空から見た産廃用地



鬼嶽からみた産廃予定地





計画概要



不知火海

水銀ヘドロ埋
立地

第2～第4
水道水源

←湯出川

鹿谷川→

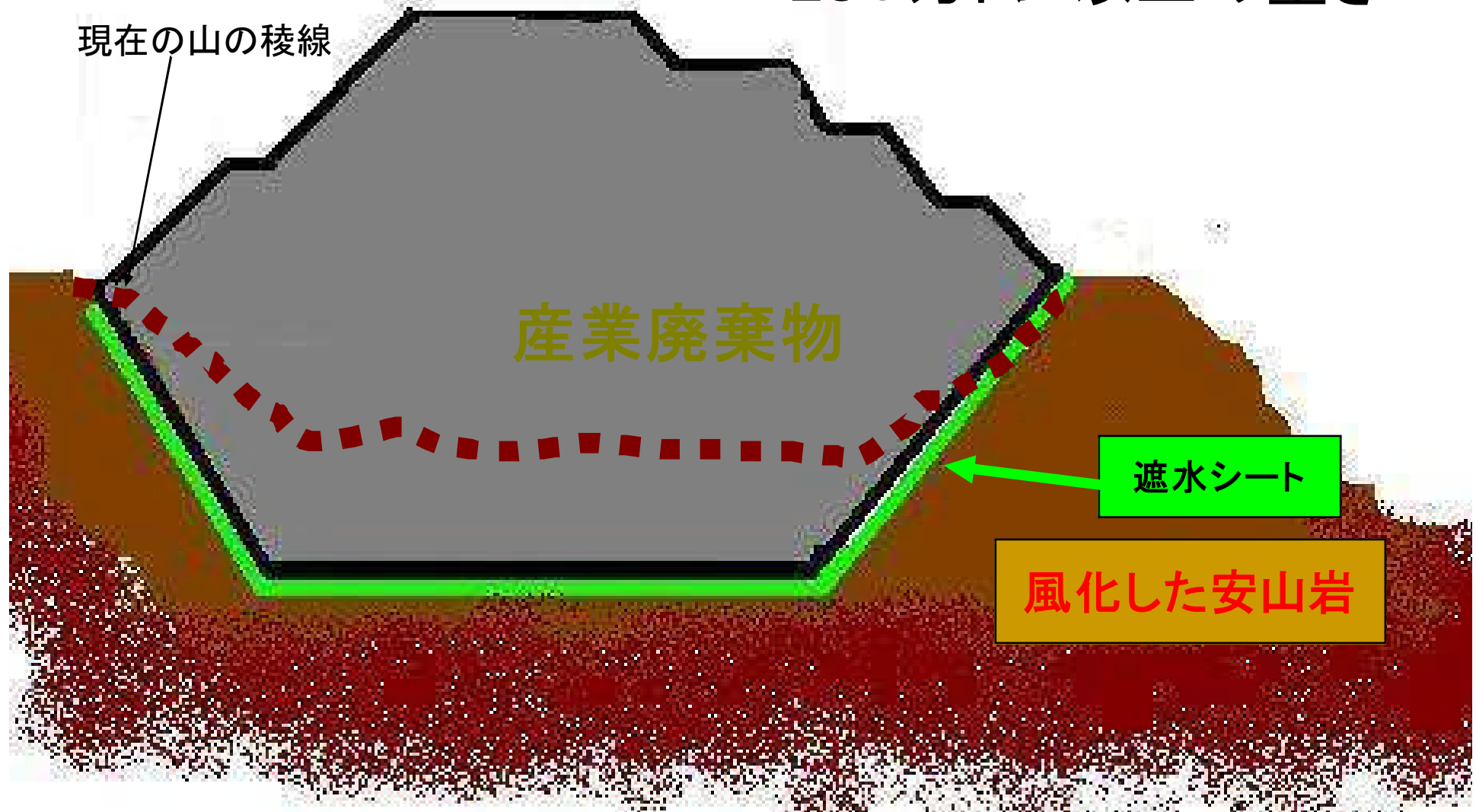
- 事業主体 : (株)IWD東亜熊本
- 施設 : 管理型産業廃棄物最終処分場
- 処分場総面積 : 834,000m²
- 埋立面積 : 83,000m²
- 埋立容量 : 2,030,000m³
- 埋立期間 : 15年

埋立対象物（廃棄物）廃プラ・瓦礫・ガラス・
陶器・金属・ゴム・燃え殻・汚泥・紙・木・
繊維・鉱さい・煤塵・コンクリート固形化物
一般廃棄物

遮水シート

処分場縦断面

150万トン以上の重さ



遮水シート

元の山より高くなる部分

地盤にかかる重量が増加

地盤沈下の恐れ

150万トン以上の重さ ゴミの法面

種子吹付け

斜面の崩壊 有害物質の流出

遮水シート

風化した安山岩

かかる重量が異なる

不等沈下によるシート破損

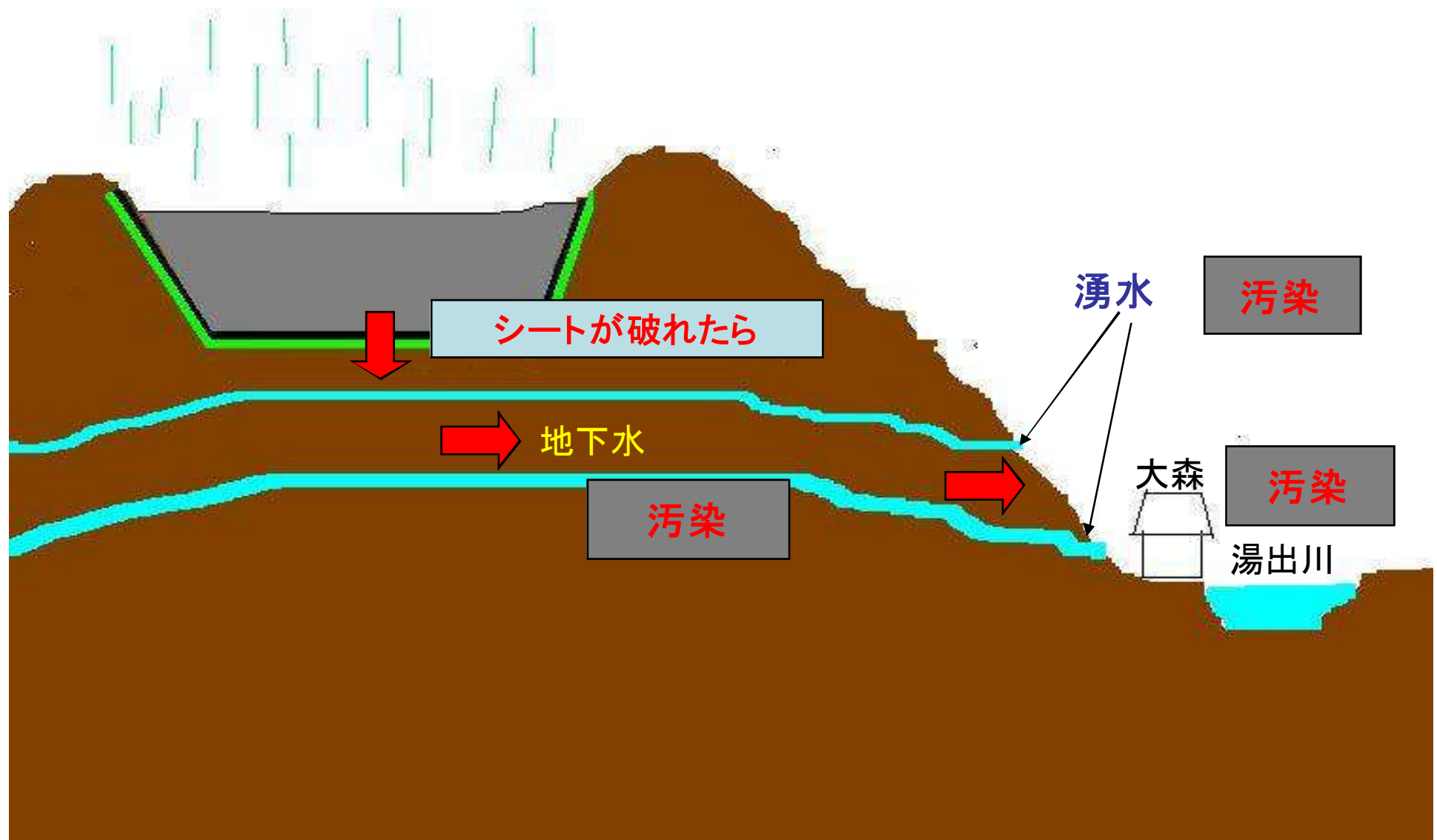
処分場縦断面

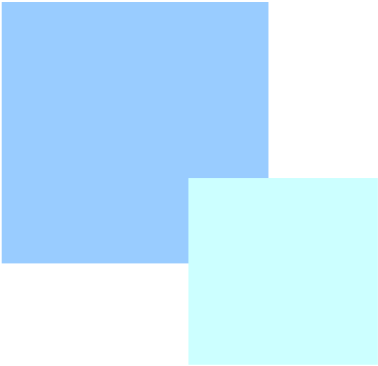
現在の山の稜線

50m

産業廃棄物

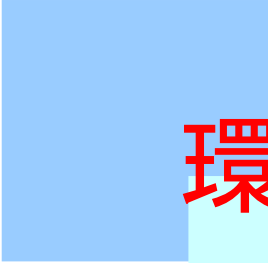
地下水が汚染される





環境アセスメ ント





環境影響評価とは

開発事業の実施に当たって、それが環境にどのような影響を及ぼすかについて、事前に①事業者自らが調査、予測及び評価を行い、その結果を公表して②住民等や行政の意見を聴き、それらを踏まえて環境保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていこうという制度

実際には事業実施を前提とした「アワスメント」に。



環境アセスメントの矛盾

環境アセスメントの目的

- ①本来 影響があるかないか評価するため
- ②現実 「安全である」ということにするため

環境アセスメントの結果

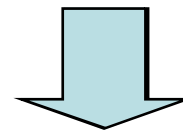
必ず安全・影響なし

①安全な場所

環境アセスに矛盾がない

②危険な場所

環境アセスが矛盾だらけ



作為の発生



環境影響評価の問題点

事業者が周辺の環境の調査を自ら行い、
事業によって影響があるかないか調べる



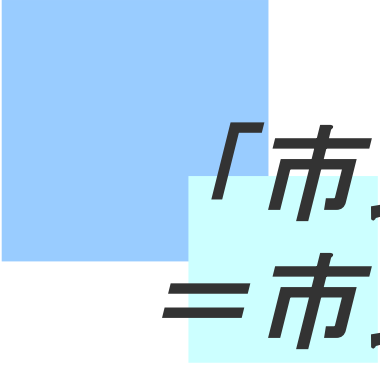
結論の決まっている調査

影響は少ない



調査活動



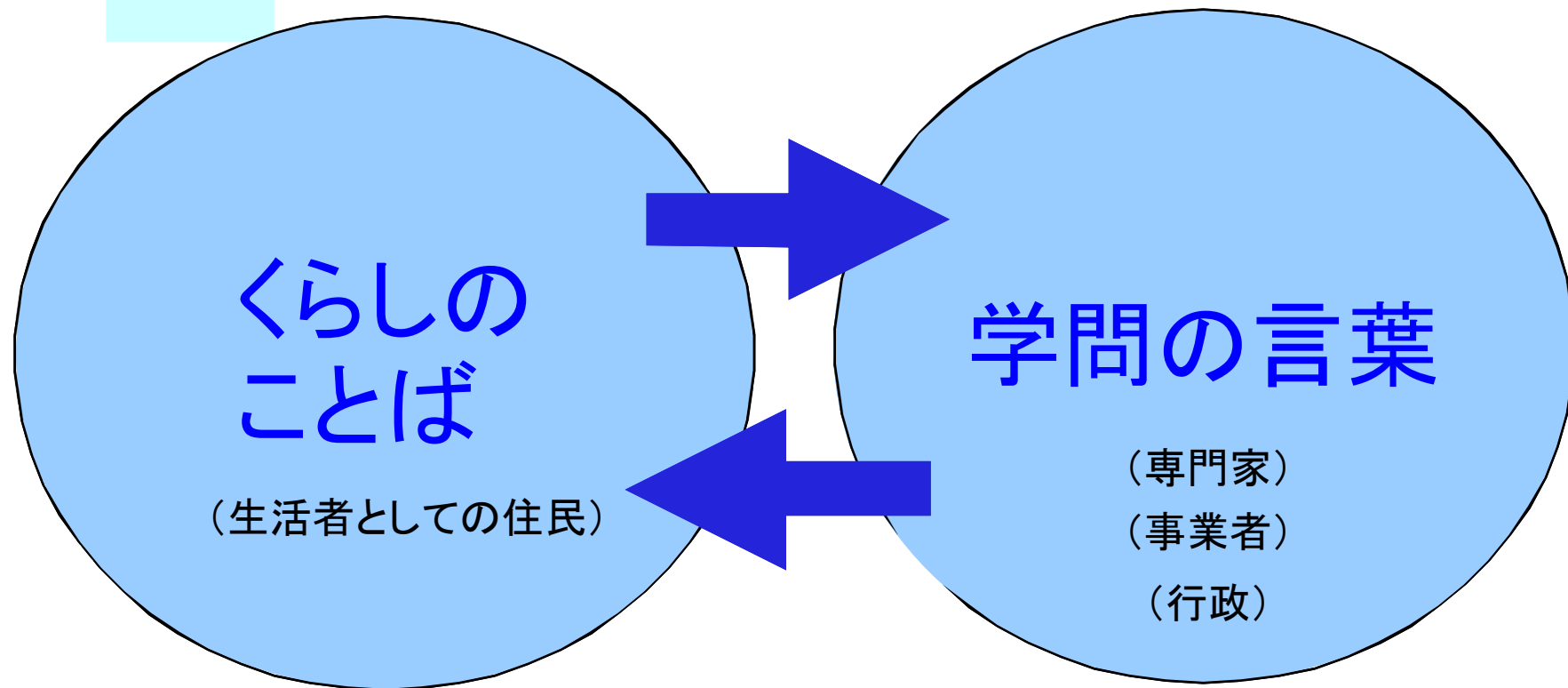


「市民科学」
＝市民が専門家になる

調べた人しか
詳しくならない



生活と科学を結ぶ市民科学



これまでに行った調査

・ 2006年

- ・ 河川水の水質分析(相思社他・水俣市)
- ・ 湧水の水質分析(水俣市)
- ・ 湧水量の測定(下田さんと水俣市)
- ・ 水生生物調査(有志)

・ 2007年

- ・ 10ト^ンダンプ走行実験(みんなの会)
- ・ 交通量調査(市民会議)
- ・ 地質調査(相思社他・水俣市)
- ・ 水生生物調査(みんなの会)
- ・ クマタカ調査(水俣市・野鳥の会)
- ・ 焼却灰飛散実験・大気汚染の観測(相思社他)

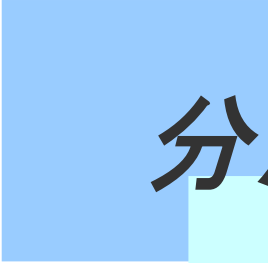


※青字は「高木基金
助成事業」



6月1日 水質調査採水作業





分かったこと！

- 現在の湯出川・鹿谷川の水は汚染がない（とてもきれい）



- 処分場の排水によって清流が汚染される危険がある



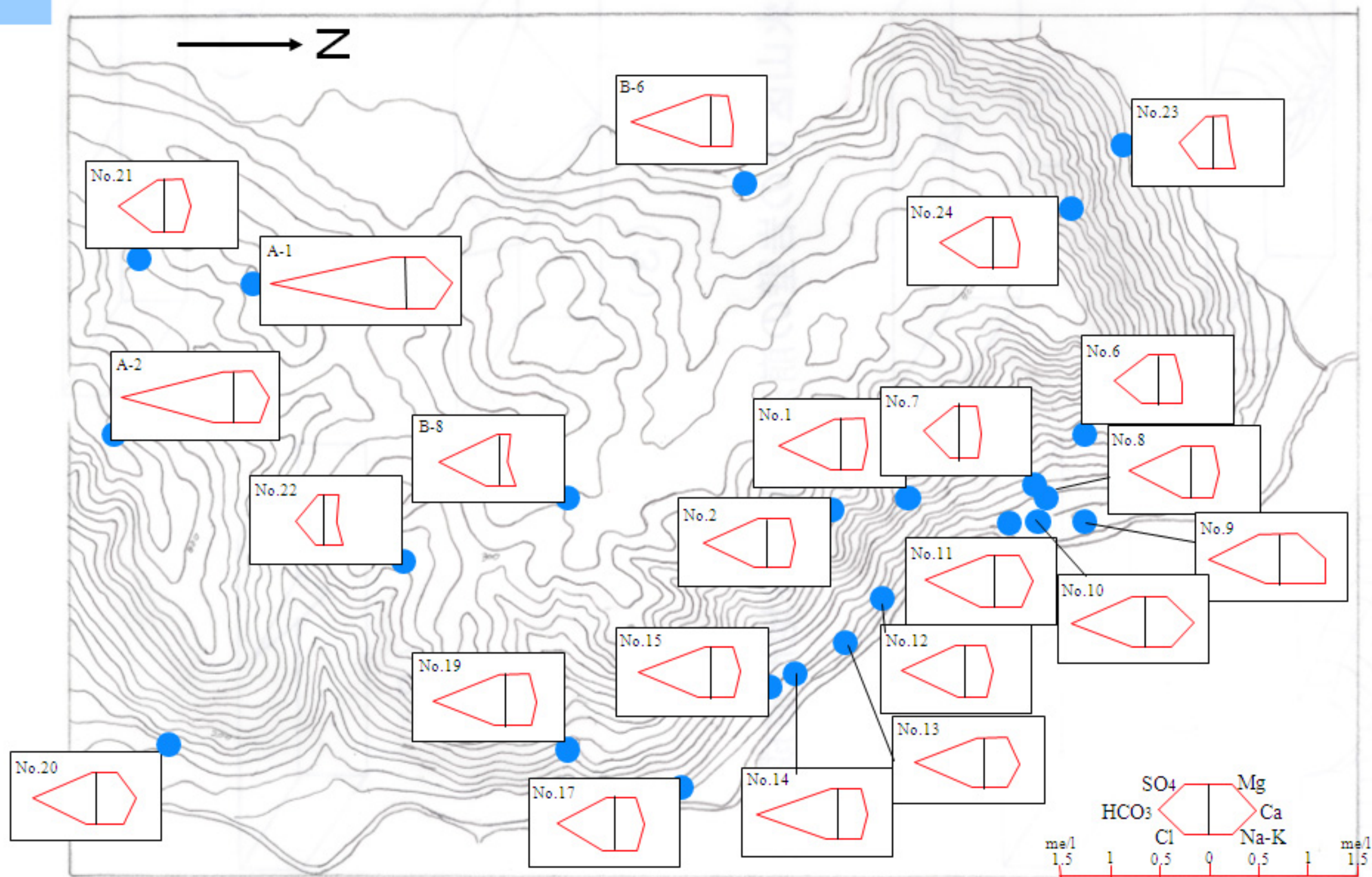
大森・下田さんの湧水地



図14 採取湧水の分析結果

ヘキサダイアグラム

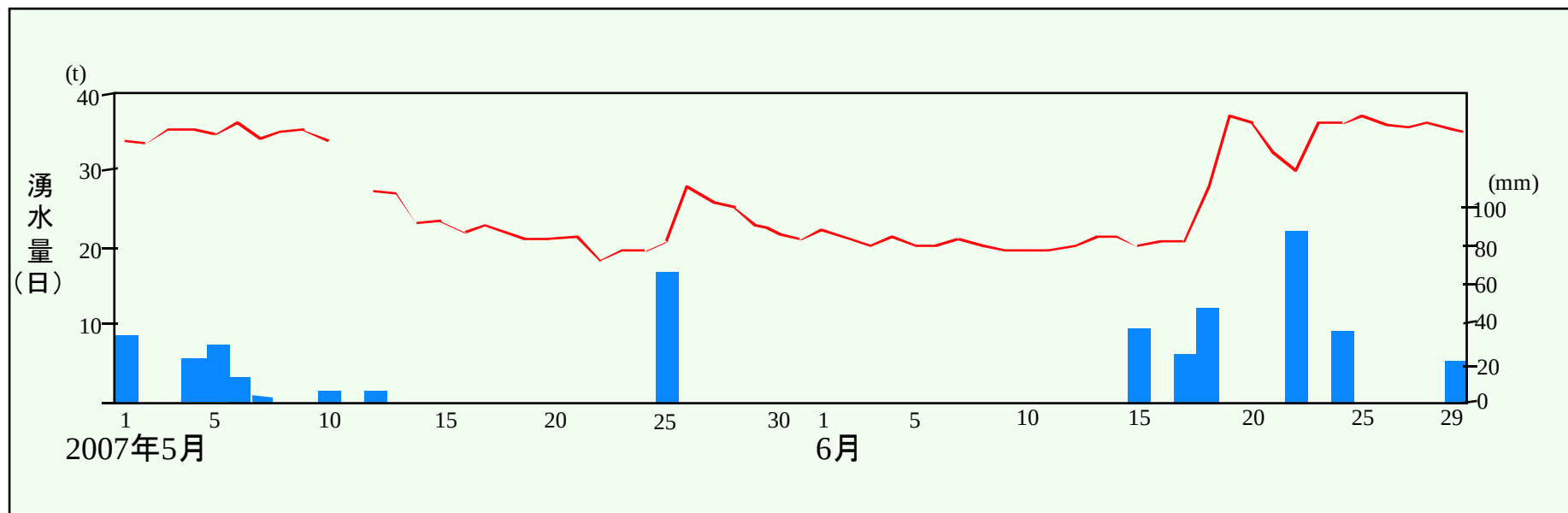
(水俣市作成)



湧水量

図15 地点Y-20（下田氏9）における湧水量と降雨量

（水俣市作成）



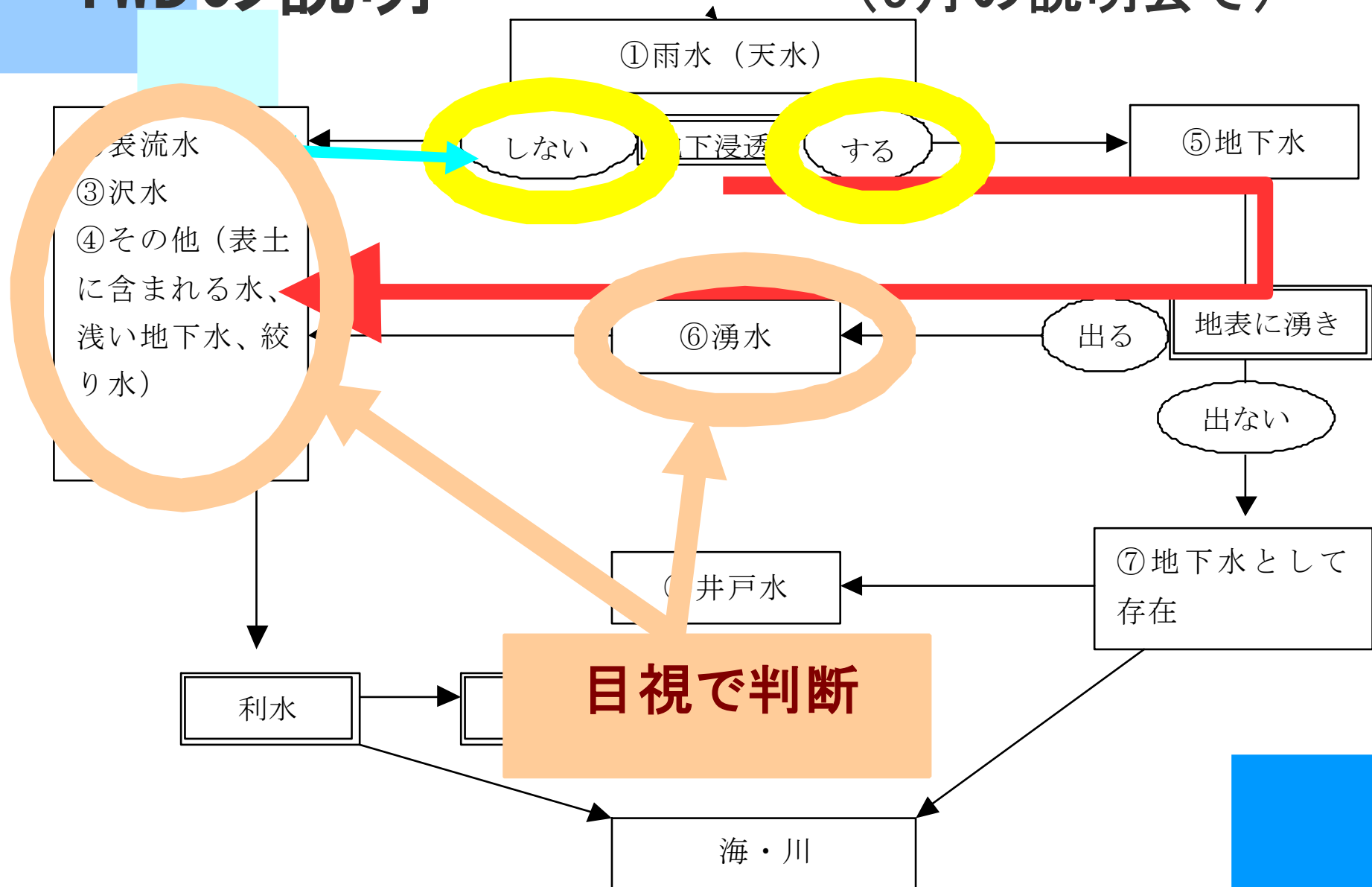
IWDの

(5月の説明会で)

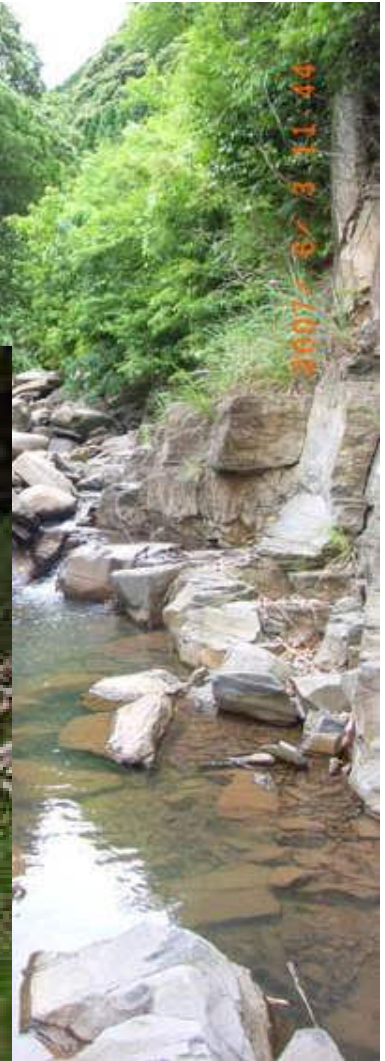


IWDの説明

(5月の説明会で)



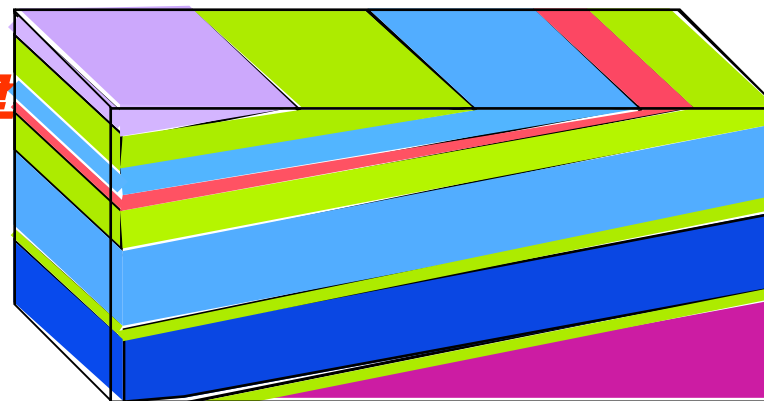
地質調査



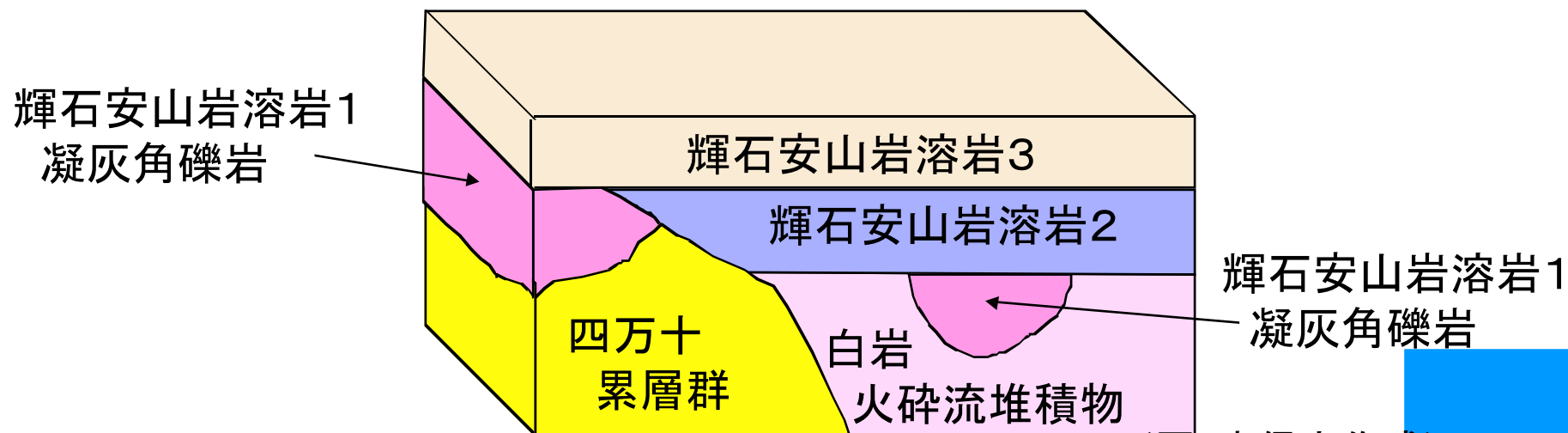
地質調査

IWD東亜熊本 準備書

地層を何枚も重ねて
傾けた構造



市民会議の調査



(図: 水俣市作成)



分かったこと！

- いつも涸れない湧き水は、割れ目が多く水をよく通す溶岩のおかげ
- 予定地周辺は過去に何度も崩れていて危険な場所



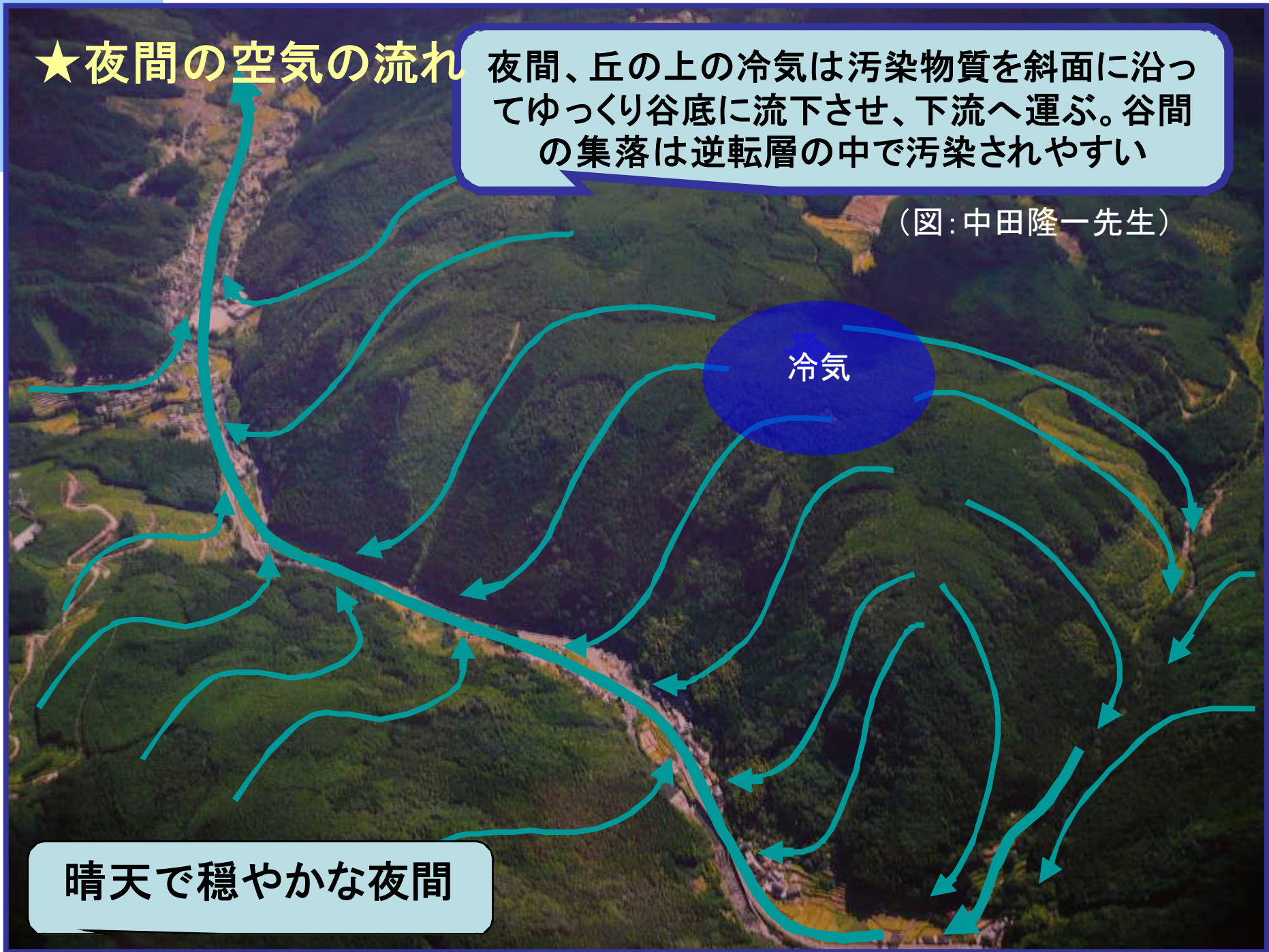
★夜間の空気の流れ

夜間、丘の上の冷気は汚染物質を斜面に沿ってゆっくり谷底に流下させ、下流へ運ぶ。谷間の集落は逆転層の中で汚染されやすい

(図: 中田隆一先生)

冷気

晴天で穏やかな夜間



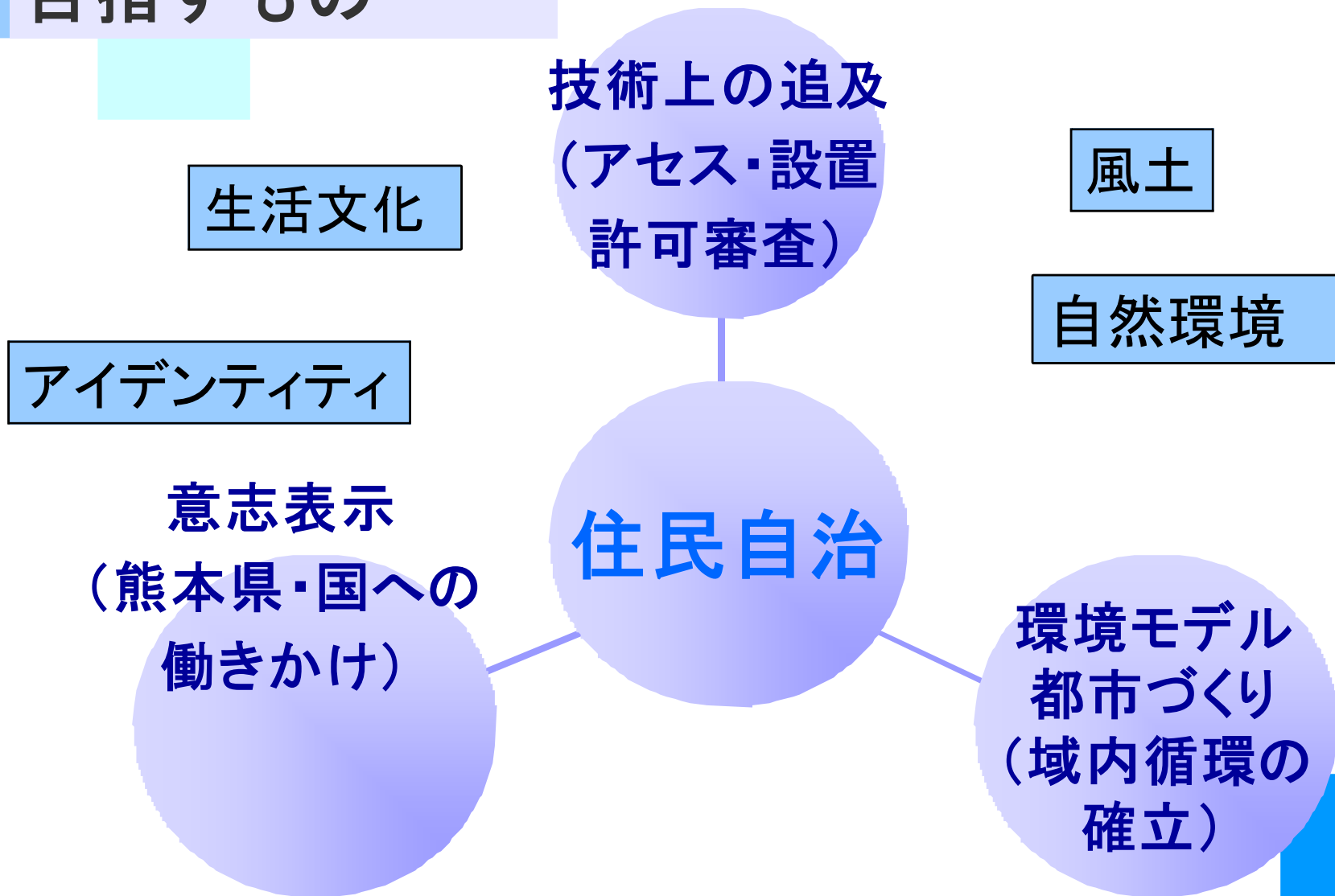
生態系

森の王者 クマタカ



絶滅危惧種 I B類

産廃阻止運動の 目指すもの



ご静聴ありがとう
ございました。



より詳しくはこちらをご覧ください。

○水俣病センター相思社 <http://www.soshisha.org/>

○水俣産廃情報ひろば@WIKI
<http://www15.atwiki.jp/komomo/>